

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	3. 徴収事務費		
項	2. 徴税費	細事業名	3. 滞納者管理支援システム事業費		
目	2. 賦課徴収費	担当課・係	収税課	(執行課: 収税課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	9,224	要 求									9,224
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / 市税の徴収を適正に行います。										
	【滞納者管理支援システムに関する業務】	施策体系コード	06-01-04-20-55			事業番号							
	現行システムよりもスリム、かつ長期運用が可能なシステムをプロポーザル方式で調達することにより、トータルコストを削減するとともに、長期運用においても安定した稼働を可能とします。	総事業費	25,238千円			事業期間	平成20年度～平成22年度						
		年度別事業費	20年度	21年度	22年度								
			6,788	9,225	9,225								
												(事業実施に関する根拠法令)	

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 現行の滞納者管理支援システムは、機器の耐用年数が限界のためにシステム障害が発生し、業務に支障をきたしていました。そこで、現行システムの運用状況及び将来予測される制度改正等に伴うシステム改修費等から総合的に判断した結果、平成21年3月より新たなシステムに入れ替え、これを長期継続運用することとしました。	(事業の目的) 現行システムよりも佐倉市の徴収業務に特化し、しかも長期運用が可能なシステムを調達することにより、トータルコストを削減するとともに、長期運用において安定した稼働が確保されます。	(事業の効果) 制度改正による影響が少ない機能に限定したシステム導入により、カスタマイズ等に要する費用が抑制され、また、長期運用が可能となることでトータルコストが削減できます。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点) 平成20年8月に、新たなシステムの導入契約を締結し、この契約に基づき、平成20年度中に現行システムからのデータ移行作業、当初セットアップ、ホストコンピュータとのデータ連携構築作業を完了させます。	(見積についての特記事項) 現在運用している当該システムは、耐用年数を既に超えているため、数回のシステム障害が発生し業務に支障をきたしていました。